



## 現代的教育ニーズ取組支援プログラムの採択について

### 概要

文部科学省の国公私立大学を通じた大学教育改革の支援事業の一つである「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に本学の教育プログラム3件が採択されましたのでお知らせします。

### ■背景

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」は、文部科学省の支援事業で、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された取組の中から、特に優れた教育プロジェクト（取組）を選定し、財政支援を行うものです。

本学からは3件の教育プログラムを申請し、その3件が採択されました。

### ■内容

採択された教育プログラムは、下記のとおりです。

記

テーマ	取組名称	取組担当者	問い合わせ先
地域活性化への貢献(広域型)	地域環境・農業活用による大学教育の活性化	中司 敬 農学研究院教授 (農学部附属農場長)	中司 敬 教授 TEL092-612-2866
知的財産・コンテンツ関連教育の推進	医療コンテンツプロデューサー育成事業	赤峰 昭文 歯学研究院教授 (歯学研究院長)	石川邦夫 教授 電話 092-642-6344
教育効果向上のためのICT活用教育の推進	間違い探しを基盤とする洞察力育成医療教育	赤峰 昭文 歯学研究院教授 (歯学部長)	石川邦夫 教授 電話 092-642-6344

上記教育プログラムの概要は、別添をご参照ください。

### ■今回の採択について

本学は、総長のリーダーシップの下、教育改革を積極的に推進しています。今回申請した3件のプログラム全てが採択されたことは、本学の教育改革の取組みが社会のニーズに的確に答えていることを示したものと理解しています。今後とも本学は、教育改革に取組み、質の高い教育研究を通して、社会に貢献して参ります。

#### 【お問い合わせ】

学務部学務企画課 松尾

電話：092-642-7123

FAX：092-642-2252

Mail：gakikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

取組名称 地域環境・農業活用による大学教育の活性化

取組の概要

本取組では、九州大学と糸島地域が有機的連携を図り、農業を基盤とする地域の持続的発展と調和した新しい学生教育学習基盤の形成を目指す。すなわち、糸島地域に分散する農地や畜舎等の生物生産基盤、森林・ため池・河川等の環境資源、歴史的・文化的資源等を集約したネットワーク型農学校を創設し、これを核に参加型・体験型学生教育・地域活性化プログラムを構築する。具体的には、①農業体験実習プログラム、②農村留学プログラム、③小中学校体験学習受入プログラム、④シルバー世代受入プログラム、⑤教育研究のための地域資源有効利用プログラムから構成される。体験学習や世代間交流を通して、学生の食・環境・地域文化に対するセンスや学生自らの課題設定・解決能力を養いつつ、同地域との人的交流の深化によりコミュニケーション能力、マネジメント能力、ファシリテーション能力を育成する。得られた成果は同地域に還元し、地域社会の活性化を促す。

取組名称 医療コンテンツプロデューサー育成事業

取組の概要

医療従事者教育においては患者の動画などの患者視覚情報コンテンツを用いた教育が必要不可欠である。患者視覚情報コンテンツの創造においては、患者の人権に十分配慮してコンテンツ生データを修得した後で、確実な不特定化处理と権利処理を行う必要があるが、医療基盤とコンテンツ創造能力、不特定化处理を含む権利処理能力をあわせ持つ医療コンテンツプロデューサーは育成されていない。

本取組においては医療系部局、権利処理系部局（知的財産本部、法学府）、情報処理系部局（情報統括本部、芸術工学府）の連携のもとで患者視覚情報コンテンツの創造、保護、活用に関わる医療コンテンツプロデューサーや医療コンテンツを理解した指導的医療従事者を育成する。教育対象は将来の教員や指導的医療従事者育成の場でもある医療系大学院の1年次学生とする。講義やコンテンツ作成実習を行い、講義等は「知のアーカイブ」として蓄積、公開する。

取組名称 間違い探しを基盤とする洞察力育成医療教育

取組の概要

患者は個々の疾患のみを治療する医療従事者ではなく、患者の状態を総合的に判断し、最善の治療を行う医療従事者を求めている。したがって、医療従事者教育においては医療に関する基盤的知識の教授、十分な臨床経験の付与だけでなく「洞察力育成」が求められている。しかしながら、これまでの医療従事者教育においては医療において必須の洞察力育成が十分に行われていない。

本取組はICTを利用した「間違い探し」によって学生の洞察力を育成する。学生は与えられたコンテンツの中にある不定数の間違いを探し出すことにより洞察力をはぐくむ。「間違い探し」においては学生に正答情報だけでなくフィードバック情報も提供し、深い基盤的知識も教授する。さらに、「間違い探し」を動画コンテンツでも行うことにより擬似医療経験もあわせて付与する。

学生の個別学習到達度情報、領域正答率情報等は教員にフィードバックし、個別指導、教育内容改善に活用する。